

12月6日は地域防災の日

大規模災害時

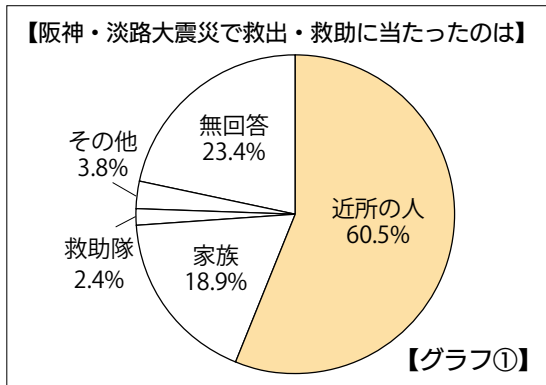
自助・共助は大きな力

自らの命は自ら守る！自らの地域は皆で守る！

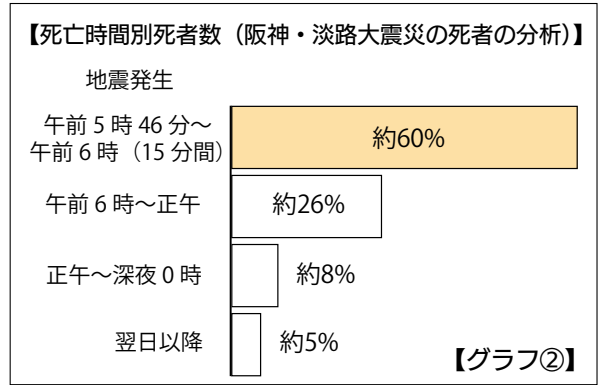
問合せ 危機管理課 ☎ 983・2751

❖ 過去の大規模災害の教訓

阪神・淡路大震災において、実際に被災者の救出・救助に当たったのは、80%近くが近所や家族の方でした。(救助隊に助けられた人は2.4%程度でした【グラフ①参照】)また、死者数のうち、半数以上が発生から15分間で亡くなり、約6時間で約86%の方が亡くなっています【グラフ②参照】。



▲神戸市民840人の聞き取り調査(平成7年2月神戸市消防局調査)



▲兵庫県警の資料より

❖ 被害者をただちに助けることの重要性

大規模災害時は救護する側の数が圧倒的に少なくなってしまうため、自主防災組織を中心に住民一人一人がお互いに助け合うことが、地域の命を救う大きな力となります。平常時から、災害発生直後の活動をイメージし、地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。

❖ 市では、こんな訓練も実施しています！



▲身近なものを使った応急手当



▲重量物除去訓練



▲重量物除去訓練
詳細動画はコチラ

❖ 自主防災会で行う「市民トリアージ研修会」の講師派遣をしています ❖

- 講師 NPO法人災害・医療・町づくり
- 時間 2時間半～3時間
- 内容 市民トリアージ ※1
身近にあるものを使った応急手当
- 費用 交通費込 15,000円
(市防災活動事業費補助金1/2以内の補助)

受講者の感想

- ・災害時に一人でも多くの人が助かるように、市民トリアージを町内の防災訓練などで周知したいです。
- ・身近なものを使い、災害時に応急手当ができる方法を教えていただきよかったです。

※1 「NPO法人災害・医療・町づくり」が作った、大規模災害時などで同時に多数の怪我人が出た時に、緊急性の高い怪我人を素早く見つける方法

※新型コロナウイルスの感染拡大状況や講師の都合によっては、派遣ができない場合があるため、申し込み前に一度お問合せください。